

4月から自転車にも青切符導入へ 学生が危険予測VRで自転車運転を体験、 新ルールを学ぶ

今年1月に発足した帝塚山大学(学長:奥村由美子、所在地:奈良市帝塚山7-1-1)法学部の学生による交通安全ボランティア団体「トラフィックセーフティ奈良(TSN)」は、奈良県警察および奈良西警察署と連携し、「危険予測VR」を用いた交通安全講習会を4月9日(木)に実施します。

この4月に施行される道路交通法改正により、自転車にも交通反則通告制度(いわゆる青切符)が導入されます。16歳以上の自転車利用者による信号無視や一時不停止、スマートフォン等を使用するながら運転など、113種類の違反行為が対象です。違反が確認された場合は指導警告が原則ですが、交通事故に直結する危険行為については青切符が交付され、反則金が科されます。

新ルール施行直後で理解が十分に浸透していない中、本講習会では奈良県内に1台のみの「危険予測VR」を使用し、学生が仮想空間で交通事故の危険性を体験して、自転車の通行ルールなどを学びます。現実に近い危険場面を疑似体験することで、違反行為のリスクと罰則への理解を深めます。

【実施概要】

日時:2026年4月9日(木) 14:50~16:20(4限)

場所:帝塚山大学 東生駒キャンパス 6113教室

参加者:TSN所属学生 約20名(法学部学生含む)、法学部教員、奈良西警察署、奈良県警察本部関係者

TSNは2026年1月の発足以降、高齢者向けの交通安全啓発活動を展開してきました。今後は、本講習会で得た知識を生かし、小中学校での出前型交通安全教室の実施を計画しています。さらに、若年層に向けた交通安全動画コンテンツの制作やSNSでの発信で啓発活動を進めます。



学園前駅前での啓発活動



UR都市機構の団地内での交通安全教室

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp

